

九廿日刊 磐城時報

印刷所 磐城印刷局
代印所 磐城印刷局
代印所 磐城印刷局
代印所 磐城印刷局

磐城農會主催中堅農民講習會
石城中堅農民講習會
郡下を七區に分けて統一

石城郡農會主催中堅農民講習會は逐年發屋し實績をあげつゝ、あり本年は第四回講習會を開催中であるが講習者百余名に達して

計るため石城郡を七區に分けて各組に組長をおく事になったが組長並にその管轄區域左の如く
第一區 高木村、徳壽（大野、大浦）
第二區 長高、静政（鹿島、玉川、内郷、磐崎）
第三區 長鈴、三雄（平窪、赤井）
第四區 長小野、吉次郎（渡邊、泉、勿來、植田）
第五區 長伊澤、忠雄（入遠野、田人、川前、山田）
第六區 長江尻、三郎（草野、飯野、神谷、好間、永戸）
第七區 長木田、大平（夏井、高久、豊間）

中之作漁港修築
七月始めに完成
防波堤八間を擴張

石城郡江名城村では仲ノ作漁港を容し得るやう工事を擴張する事となり、総工費十七萬圓で修築する事となり、二十八日有志會を開いて決議實行する事になった。
實地調査の上計劃を進めて、補助金の申請をなしたが、六年度の補助金の交付不可能となつたので、仲ノ作漁民は附近漁業家の死活問題であるとして、區民大會を開き善後策を協議した結果、既報の如く、自費を投じて修築する事となり、豊漁村救済資金を借入れを漁獲して居るので、本年は豊漁過般工事に着手した。その後工事を認められてゐる、なほ同船は、事着々進捗し、遅くとも七月上旬に完成の豫定であるが、最初の計劃では防波堤が短いので、更に向つて、廣汎詳細に調査の上魚の提を八間延長し多数漁船を收群の方向を報告する由である。

農業教育協議會

石城郡第一區農業教育協議會は六月十二日午前十時より、多賀業専修學校で開會され、縣よりは景山、實地教育主事出席するが協議事項は左の如くである。
一、當日は農場見學し質疑批評等をなす等である。
二、課題 其學に於ける農業教育の施設經營の状況
一、談話題 小學校、補習學校の専任教員は如何なる範圍から其町村の農業指導の任に當るべきか（植田町農業技術員 須藤留蔵氏提出）

水道委員會

石城郡湯本町の水道敷設工事委員會議は廿七日午前十二時から役場内で開いた結果起式式は卅一日午前十時から同町温泉神社境内で舉行する事に決定し委員の日常に日額辨當料として五十圓を支給する事とし午後二時散

加澤組頭寄附

郡江名城町消防組頭加澤一造氏は去る四月平稅務署に於て稅務資金料調査に應援した能で金一封を四萬四千圓のうち九萬四千圓は内附られたが、二十六日平署人事務省の地方低利資金、利率五分相談所を訪れ右金を寄附した。
（四厘）から借入れる事となつた。

かつらの豊漁

産試験場の豊漁丸は廿七日小名濱に歸港したが、豊漁丸は目下千葉縣野島沖南東十五カイリから二百七十カイリの海區で各縣探檢船は七、八百尾から一千尾を漁獲して居るので、本年は豊漁過般工事に着手した。その後工事を認められてゐる、なほ同船は、事着々進捗し、遅くとも七月上旬に完成の豫定であるが、最初の計劃では防波堤が短いので、更に向つて、廣汎詳細に調査の上魚の提を八間延長し多数漁船を收群の方向を報告する由である。

鐵道大臣を相手に
慰藉料請求訴訟
平窪村の松本家で

石城郡平窪村大字中平窪松本清何れも將來益々有望視される作（二四）は去る二月十五日未明各町村農會も郡農會も一九〇二平町字搔撻小路常磐線踏切でり郡下洩れなく普及すべく努め驟死を遂げたが右は鐵道側の過であるがなかづく平窪村の如失である。情作妻あい長男金太きは各農家が何れも五畝歩の紫郎兩名は増田辯護士を代理人とし雲英と五畝歩の大麥二毛作を實して江木鐵道を相手取り慰藉料請求の訴訟を平區裁判所に提出したので辯論開始の筈だが其請

第三回縣下中等學校

野球大會豫告

弊社主催第三回縣下中等學校野球大會左の如く開催致します
日期 六月二十日、二十一日兩日
參加校 （申込順）
双葉中學校
磐城中學校
平商業學校
田村中學校
安積中學校
相馬中學校
主催 磐城時報社

石城地方
二毛作増加

不況打開の一助として一般農家裁縫等が主たる科目だが草花の角多角な經營に向つてゐる事造り方等も折衝して院内の園藝は最近における各種副業の勃興で教へる又クリーニングの仕並に二毛作の普及等によつて明方も同様、教育方針も家庭的とかな事實であるに鑑み石城郡のふのを主意としてゐるだけに農會ではこの好機を進ませず二毛院長佐藤忠子氏もタゲテ教へ作と促成栽培奨励に全力を挙げる。院長さんの可愛い子供さの事、是れ報の如く殊に二毛院長が授業中に「お母さんおしつ作が從來閑視されてゐただけに」と馳け寄つて來る。「一寸待急速度をもつて貰されるに至つて」と生徒を驚かせて立上る。大麥、菜種等が多いが緑肥のは外の學校では見られない。微獎勵の折柄とて紫雲英も相當多笑ましい情景である。

想ふ男と逢瀬を禁じられて
十九の妊娠娘
父を呪ひ乍ら自殺

石城郡内郷村大字宮飯坂浦井祝した
ハママは昨年夏頃から近所の其（十九）といふ青年と戀を語る仲となり目を忍んで逢瀬をやつてゐたが、その事を知つた父は腹を思ひ療養中はかば評判となつたので父經春はハママに絶対に外出を禁じてゐる。

助腹を苦しめし
看護婦自殺

石城郡内郷村字宮加藤末太郎方看護婦早見とよみ（一九）は去る二十五日カルモチンで自殺した。同女は助腹を思ひ療養中はかば評判となつたので父經春はハママに絶対に外出を禁じてゐる。

落磐で重傷

赤井村福島炭礦第七坑において郷村字四三三石井久太郎（四三）方二十七日午後三時頃突如大音響で二十七日同人を初め吉川幸太郎と共に大落盤あり、入坑作業中（四三）今福島四郎（四四）黄水の坑夫高原作右工門（三九）同赤江（五三）が賭博開帳中平署員に石平三郎の兩名はその下敷となり一網打盡檢査された。

賭博四名

石城郡内郷村字四三三石井久太郎（四三）方二十七日午後三時頃突如大音響で二十七日同人を初め吉川幸太郎と共に大落盤あり、入坑作業中（四三）今福島四郎（四四）黄水の坑夫高原作右工門（三九）同赤江（五三）が賭博開帳中平署員に石平三郎の兩名はその下敷となり一網打盡檢査された。

花形

「花形」 鬼一郎選
◎点之部
花形が動くは樂屋皆動き
金のあつた方へ花形身を任せ
特等へつゝ花形の電氣燈
花形と一時言はれた事もあり
余花郎



鼻の薬「チクノール」
平五 山野邊藥局

大蔵大臣 許先
磐城無盡
酒類 衛生 飲用

佛國マルソー會社元詰
生葡萄酒
マルソー・アランク・白 1.10
マルソー・ルージュ・赤
良品にして安價賣行飛ぶが如し
西村屋藥局

二葉印刷所
平町仲町・電話一九三番

開業廣告
私儀今般五月五日より左記箇所に醫院を開業耳鼻咽喉科
診察に従事可致候間將來何分の御後援に預り度く御挨拶
旁々御願ひ申上候 敬白

診療科目
耳鼻咽喉科 專門
氣管、食道科 專門
平町字南町一(元真木辯士跡)

増田耳鼻咽喉科醫院
本院醫學士 増田 之
(入院隨意)

外科 專門
X光線科
上田外科醫院
電話一二九番
入院應需

耳鼻咽喉科 專門
氣管食道科 專門
病室完備：自炊の便あり
平町南町 **大和田醫院**
電話一七〇番

和洋銅鐵金物問屋
釜屋商店
諸橋久太郎
電話九九番

時代は變る!!
破損性時計硝子より
不損硝子へ
絶対安全なコワレヌ時計硝子が專賣特許品
で出来ました。最も經濟的であります。
是非御使用御試験を願います。

大谷時計病院
電話十九番

君はい、型の洋服を求められたね。誂だね？いや君コレは四丁目マルトモビル停車場で販賣中の**ソレ正札堂**さ

四丁目マルトモビル
正札堂

醫院開業
婦人科 産科
花柳病科
◎入院應需
◎午前宅診
◎午後往診

井坂醫院
平町田町(舊合津醫院跡)
電話五五九番

美味にして強壯の効著大
スポンジ
錠ニピロクモヘンボツス
三價定
二價定酒ンボツス
店理代
角目丁五町平
局藥邊野山

陸軍歩兵中尉正七位荒川精一去る
五月廿五日午前三時廿分死去致候
間此段御通知申上候
追て葬儀は來五月三十日午後二時自宅出棺泉藏院
に於て佛式相替み申可候 敬具

昭和六年 五月廿八日
親族總代 荒川 恒次
友人總代 山崎 久清
柴田 芳徳
諸橋 久太郎
大平 芳徳
酒井 喜代
永山 勇吉

急性慢性を問はず
淋疾は立派に全治す
(一)淋疾尿道炎、(二)消渴、(三)膀胱カタルには驚く可き効目がある
高級治淋新藥 トリプチン
三二四
特約店 **大平屋藥店**
電話六四二番

五月十九日ヨリ五日間
銘仙と本セー儿大廉賣
驚く程安い—三井の超特價
純毛本セー儿
○男物縞柄セー儿 金四圓均一
○模樣セー儿 金六圓均一
○夏模樣銘仙 金二圓九十錢
外一格安品豊富

新線と競ふ三井の柄!! 百パーセント
一錦紗小紋 御召
片側帶地 銘仙 着尺モス 各種
日傘 パラソル 豊富
是非御用命の程を!!
ゆかた新柄大宣傳即賣
清涼な柄!! あらゆるゆかた地を集めての即賣會
中にも婦人俱樂部歌集音曲必勝ゆかた地 各種

三井呉服店
平町 電話三八四番